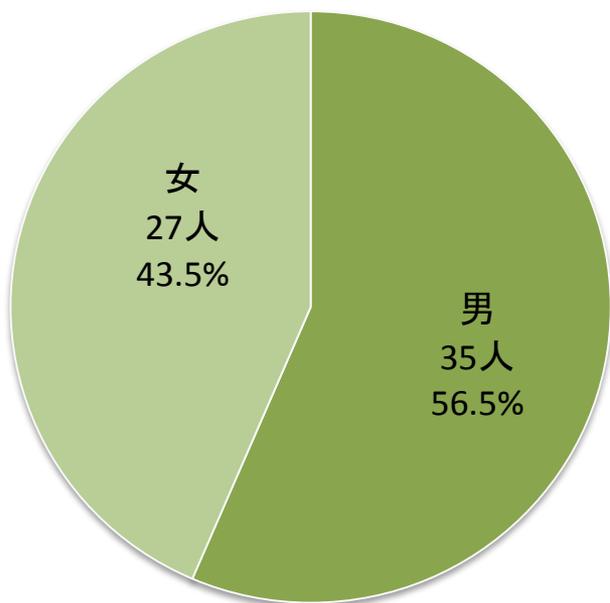


鶴嶺西地区

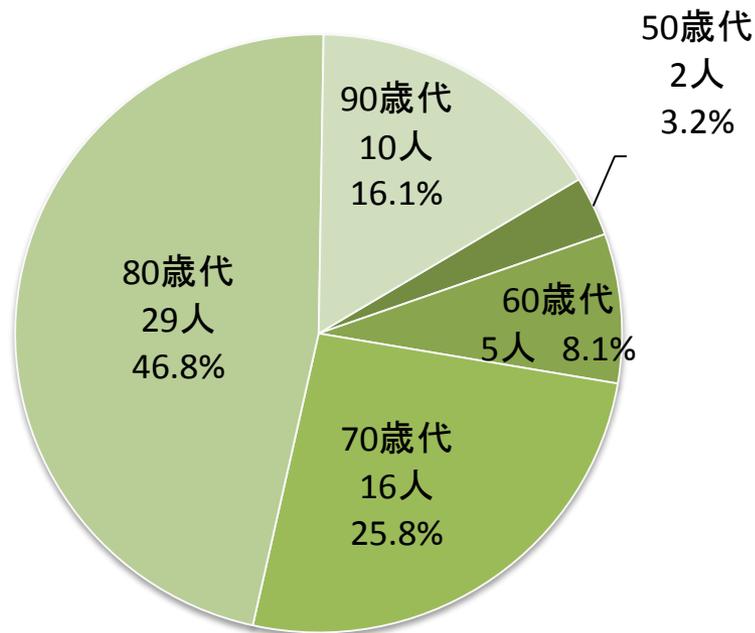
【回答数：62人／100人】（問1）

～基本項目～

問2 あなたの性別をおたずねします



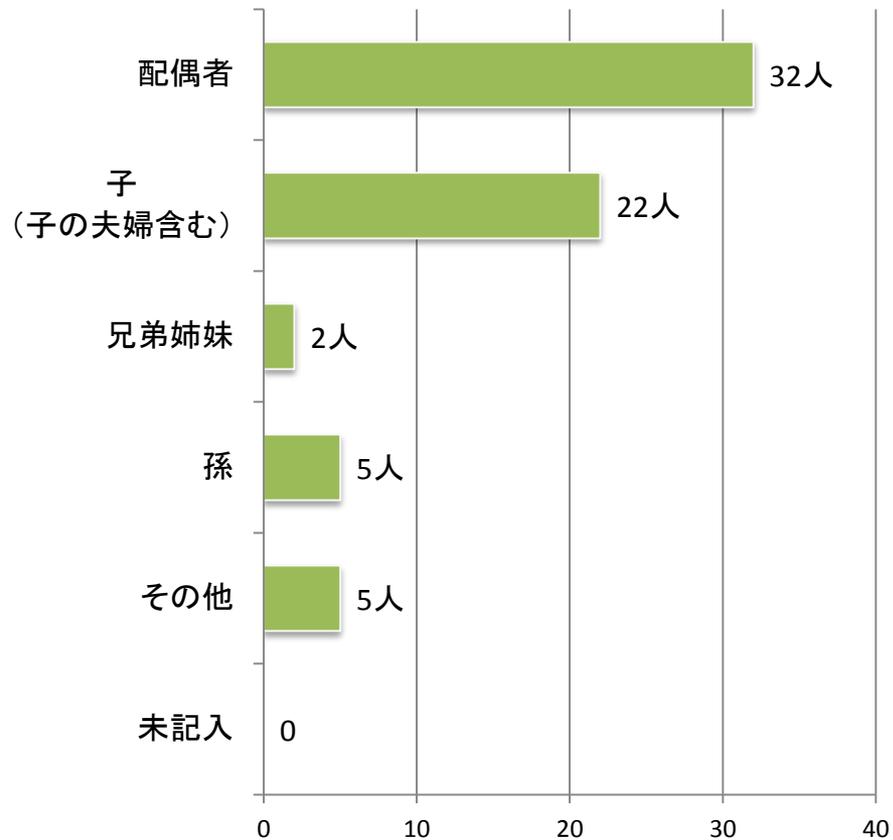
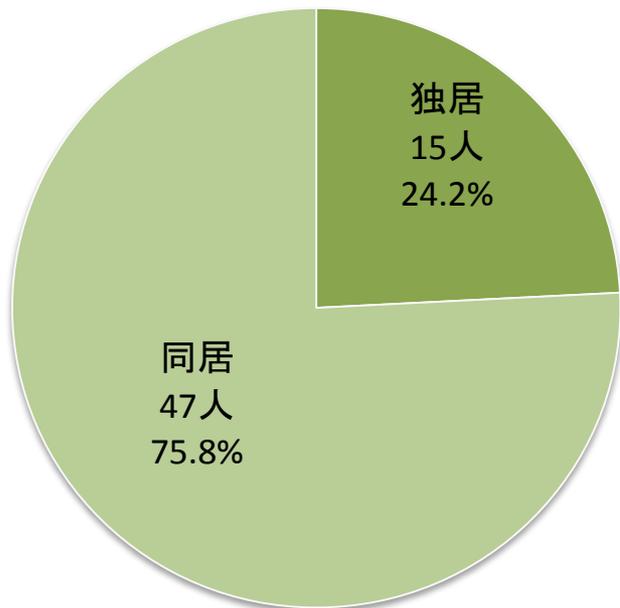
問3 あなたの年齢はおいくつですか



鶴嶺西地区

～基本項目～

問4 同居している家族についておたずねします



どなたと同居していますか (複数回答)

鶴嶺西地区

《基本項目 問2～問4 について 市全域との比較》

- 年齢構成は市域と大きな差はないが、50歳代と60歳代の割合がやや高い。(問3)
- 独居の割合は市域よりやや低い傾向にある。(問4)
- 誰と同居しているかについても、市域の構成と大きな差はないが、「兄弟姉妹」との同居がやや多い。(問4)

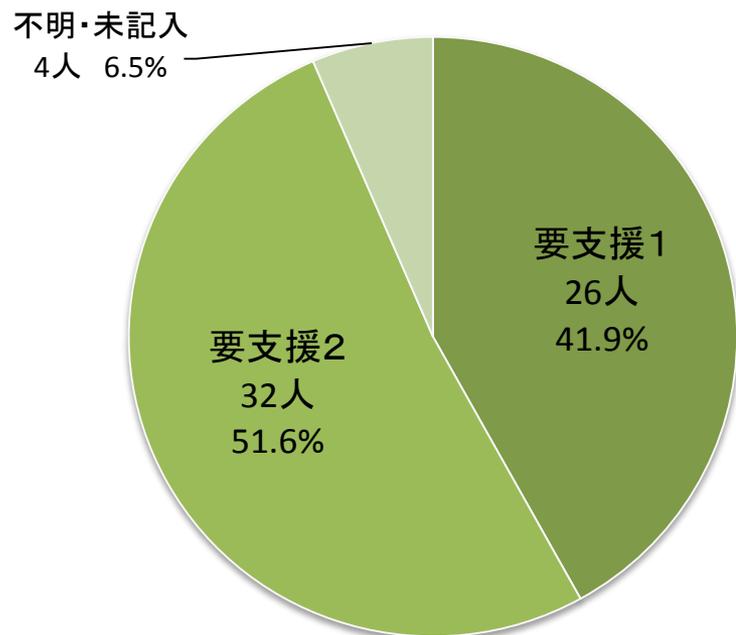
《考察》

- 鶴嶺西地区には、古くからの農家等がある地域と、平成初期に建設されたマンションのある地域、県営・市営住宅がある地域とがある。
- 古くからの農家等がある地域があることは、市全域と比較して独居の割合がやや低い傾向にあること、兄弟姉妹と同居している割合がやや高いことと関連があると考えられる。

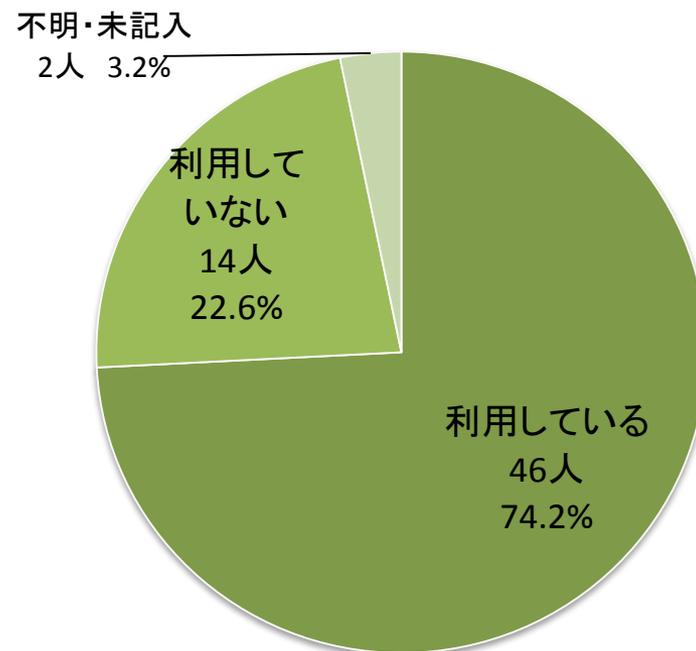
鶴嶺西地区

～介護認定関連～

問5 認定を受けている介護度をおたずねします



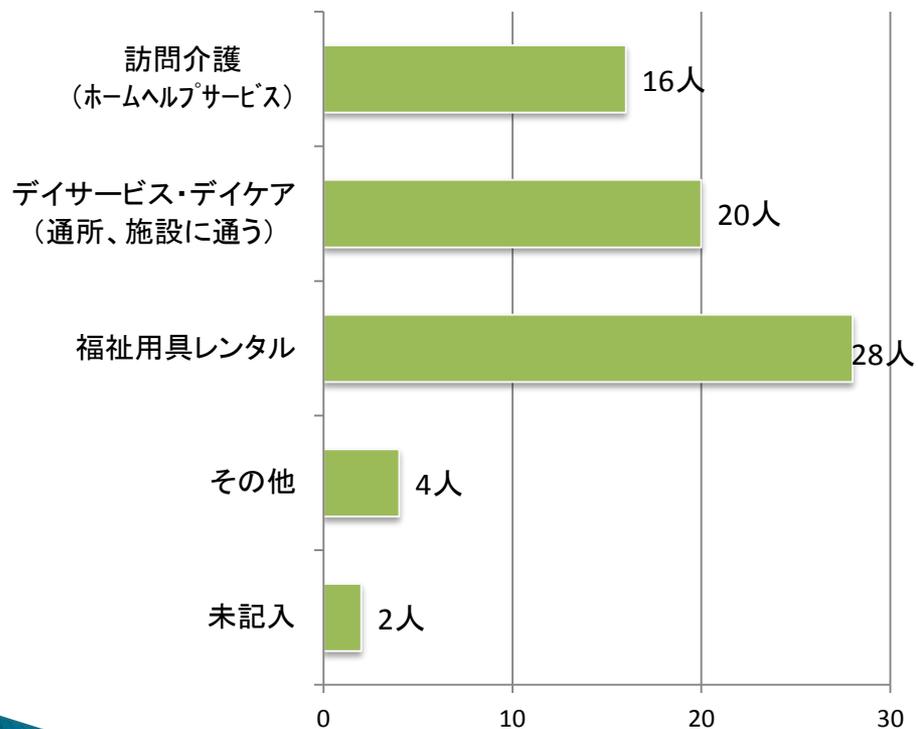
問6 現在介護保険のサービスを利用していますか



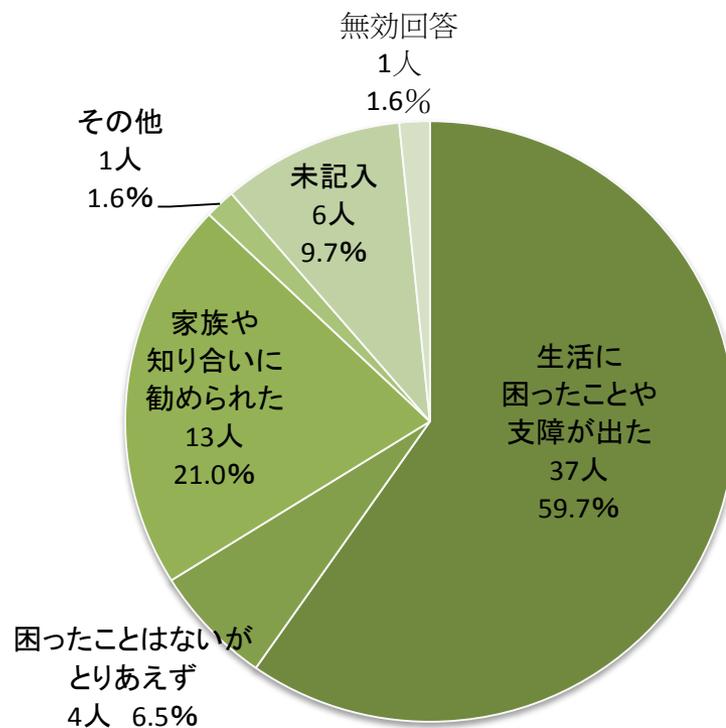
鶴嶺西地区

～介護認定関連～

問6-2 利用しているサービスを教えてください
(複数回答)



問7 介護保険の申請をした理由を
教えてください



鶴嶺西地区

《介護認定関連 問5～問7について 市全域との比較》

- 介護認定の割合は、市域全体と比べて要支援1が低く、要支援2が高い。(問5)
- サービス利用の有無についてを市域と比べると「利用している」割合がやや低く、「利用していない割合」がやや高い。(問6)
- 利用しているサービスは、「デイサービス・デイケア」が少なく、「福祉用具レンタル」が多い。(問6-2)
- 介護保険申請の理由は、「生活するのに困ったことや支障が出てきたため」が市域と比較して高い。要支援2の割合がやや高いこととの関連があるのではないかと考えられる。(問7)

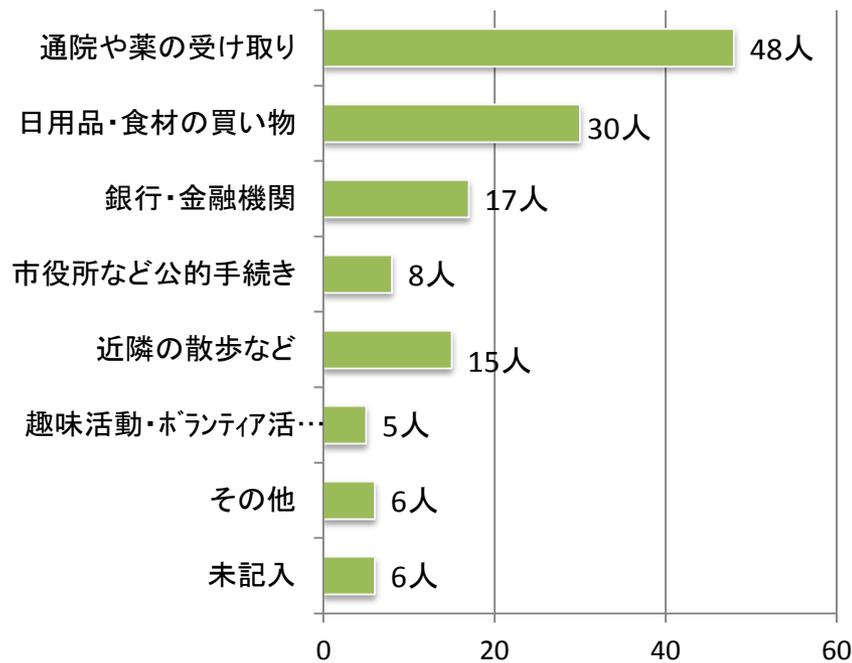
《考察》

サービスを利用している割合がやや低いことに関しては、古くからの農家等がある地域があり、家族による支援が受けられている世帯がある一方で、県営住宅・市営住宅がある地域があり、生活に困窮しているためにサービスを利用しない世帯が一定数存在するものと考えられる。

鶴嶺西地区

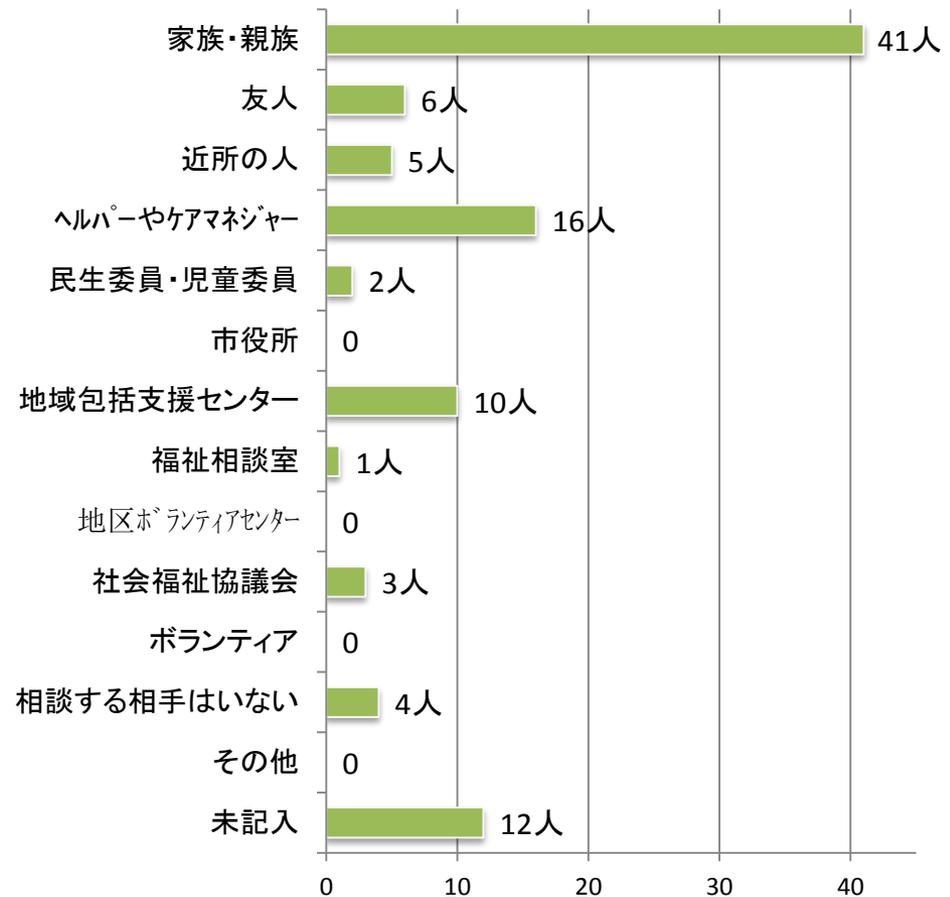
～外出関連～

問8 普段よく出かけるところを教えてください
(複数回答)



※その他： 仕事、通勤、
フィットネス、デイサービス

問13 外出について困ったことがある時などは
誰(どこ)に相談しますか (複数回答)



鶴嶺西地区

《外出関連 問8・問13について 市全域との比較》

- 普段出かけるところについては市域と構成比がほぼ同じである。その中で、「通院や薬の受け取り」がやや高い。(問8)
- 外出についての相談先として「社会福祉協議会」をあげた人が3人(市全体の半数)いた。地区社会福祉協議会(地区ボランティアセンター)が病院への車送迎を実施しているためではないかと考えたが、他地区では相談先として地区ボランティアセンターがあがっていることもあり、市社協のハンディキャブ運行事業等を指している可能性もある。検討する必要がある。「相談する相手はいない」が4人いた。(問13)

《考察》

外出についての相談先として社会福祉協議会をあげた人がいる一方で、「家族・親族」と答えた人は41人であった。古くからの農家等がある地域があり、家族による支援が受けられている世帯があることが考えられる。

鶴嶺西地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

①出かける頻度 (計36)	1 週に4回以上	1
	2 週に2～3回	2
	3 週に1回	3
	4 月に1～2回	23
	5 その他	7
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計36)	1 早朝（8時以前）	1
	2 午前中	29
	3 午後	5
	4 夕方（17時以降）	0
	未記入	1
	無効回答	0
	③交通手段 (計42)	1 徒歩
2 自転車		0
3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)		3
4 施設・店舗の無料バス		1
5 自分で運転する車		2
6 家族等が運転する車		20
7 タクシー		9
8 福祉タクシー		2
9 その他		3
未記入		0

④大変な理由 (計73)	1 距離が遠い	10
	2 交通が不便	8
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	22
	4 交通費が負担	7
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	1
	6 一人では行かないので 付添が必要	23
	7 その他	2
④で6を選んだ人 (計27)	未記入	0
	1 家族	23
	2 友人	1
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	2
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに通院・薬受取りと回答した人

鶴嶺西地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

《考察》

- ① 出かける頻度は「月に1～2回」が約6割である。
- ③ 交通手段としては「家族等が運転する車」が回答数のうち約半数を占めている。
「施設・店舗の無料バス」をあげた人が1名いるのは、地区内を走っている湘南東部総合病院のバスを利用しているものと考えられる。
- ④ 大変な理由として「歩くには道が悪い」をあげた人は1名であった。地区内に医院が2か所(うち1か所は小児科)しかなく、車で出かけることが前提となっているためではないかと思われる。

鶴嶺西地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

①出かける頻度 (計26)	1 週に4回以上	3
	2 週に2～3回	2
	3 週に1回	11
	4 月に1～2回	6
	5 その他	4
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計26)	1 早朝(8時以前)	1
	2 午前中	17
	3 午後	7
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	1
	無効回答	0
③交通手段 (計29)	1 徒歩	5
	2 自転車	1
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	2
	4 施設・店舗の無料バス	0
	5 自分で運転する車	1
	6 家族等が運転する車	12
	7 タクシー	6
	8 福祉タクシー	1
	9 その他	1
	未記入	0

④大変な理由 (計47)	1 距離が遠い	7
	2 交通が不便	3
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	20
	4 交通費が負担	3
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	2
	6 一人では行かれないので 付添が必要	12
	7 その他	0
④で6を選んだ人 (計15)	未記入	0
	1 家族	11
	2 友人	2
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	1
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに日用品食材等の
買い物と回答した人

鶴嶺西地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

《考察》

③・④

交通手段の「家族等の運転する車」の回答数と、④大変な理由の「一人では行かないので付添が必要」の回答数が同数である。一人では行かない人が家族等の運転する車で出かけていることが考えられる。

また、③交通手段の「徒歩」を選んだ人が5名で、④大変な理由の「距離が遠い」を選んだ人が7名いることから、徒歩で行っても距離が遠くて大変であると感じていることが考えられるのではないか。

その場合、スーパー等のある場所が大きな道路沿い(産業道路・萩園通り)となり、住宅地から離れていることが要因とも考えられる。

鶴嶺西地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

①出かける頻度 (計11)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	0
	3 週に1回	0
	4 月に1～2回	8
	5 その他	3
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計11)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	8
	3 午後	3
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	0
	無効回答	0
③交通手段 (計16)	1 徒歩	3
	2 自転車	0
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	1
	4 施設・店舗の無料バス	0
	5 自分で運転する車	0
	6 家族等が運転する車	7
	7 タクシー	5
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	0
	未記入	0

④大変な理由 (計21)	1 距離が遠い	1
	2 交通が不便	0
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	8
	4 交通費が負担	1
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	2
	6 一人では行かれないので 付添が必要	7
	7 その他	1
④で6を選んだ人 (計7)	未記入	1
	1 家族	7
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに銀行・金融機関と回答した人

鶴嶺西地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

＜＜考察＞＞

③・④

③交通手段の「家族等の運転する車」の回答数と、④大変な理由の「一人では行かないので付添が必要」の回答数が同数である。一人では行かない人が家族等の運転する車で出かけていることが考えられる。また、「徒歩」と回答した人3人いた一方、「自転車」と回答した人はゼロであった。地区内の金融機関は農協(さがみ農協つるみね支店)のみであることから、近くの農協に徒歩で行くか、茅ヶ崎駅付近の他の金融機関に「家族等の運転する車」または「タクシー」で行っている様子がうかがえる。

鶴嶺西地区

《全体考察》

- 鶴嶺西地区には医院が2か所(うち1か所は小児科)しかないため、通院が一番大変な外出であることは予測がついていた。
- 地形が平坦であることから、通院・買い物・金融機関ともに徒歩で行く人が一定数存在する。しかし、医院のある場所(鶴嶺通り)、スーパー等・金融機関がある場所(産業道路・萩園通り)が大きな通り沿いに限られていることから、車で行くことが前提となりやすいのではないかと考えられる。
- 一番大変な外出が週1回程度の人でも月1~2回程度の人でも、手段としては家族運転の車が一番多い。
- 他地区との比較でも徒歩が少ない傾向が見られる。車で出かけることを前提としていることがうかがえる。

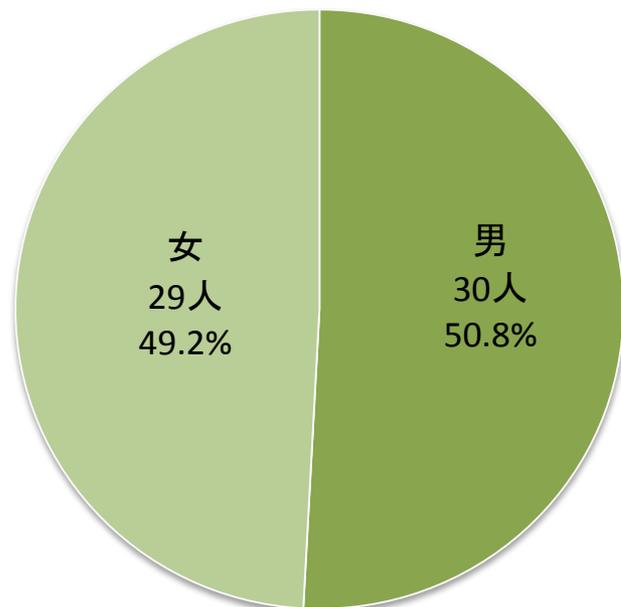


湘南地区

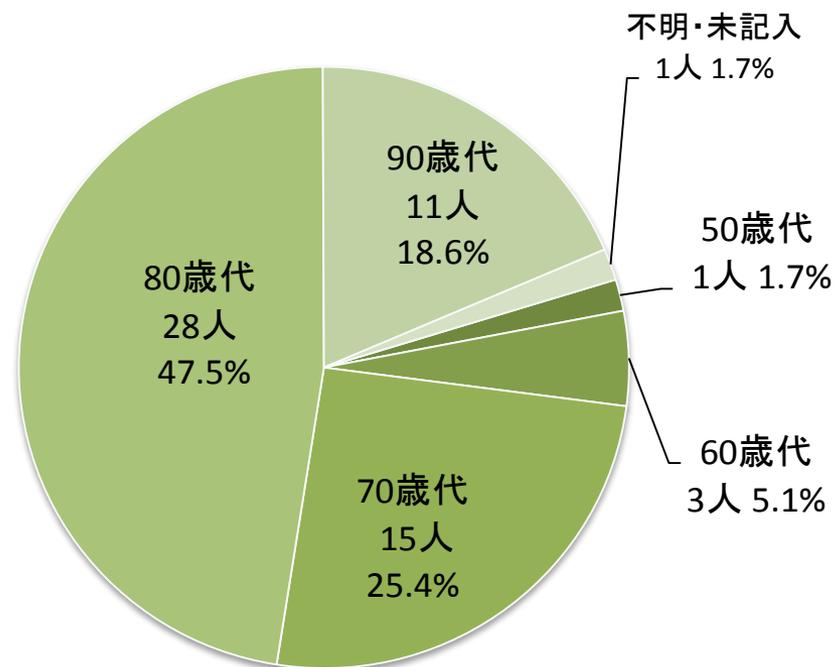
【回答数：59人／100人】（問1）

～基本項目～

問2 あなたの性別をおたずねします



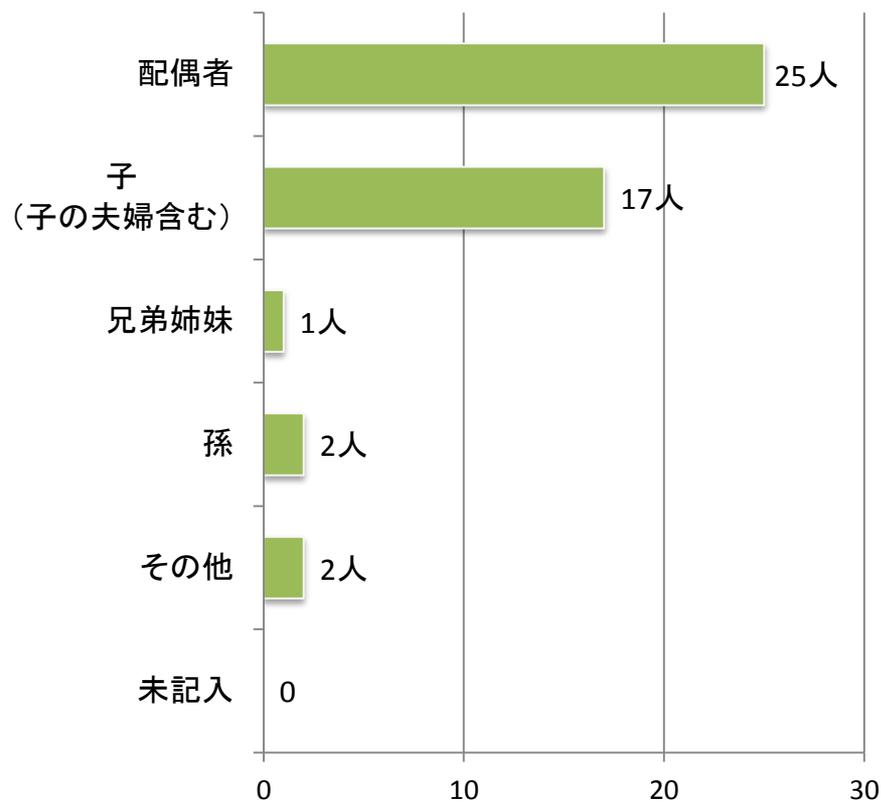
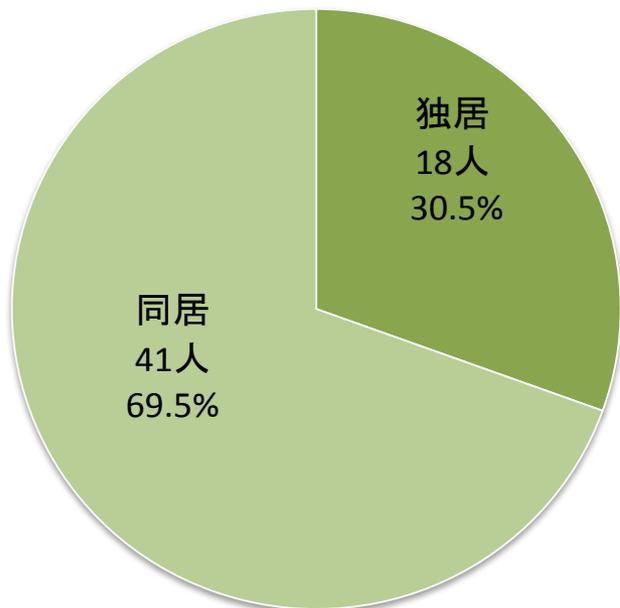
問3 あなたの年齢はおいくつですか



湘南地区

～基本項目～

問4 同居している家族についておたずねします



どなたと同居していますか

(複数回答)

湘南地区

《基本項目 問2～問4 について 市全域との比較》

- 市全体の独居の割合27.4%と比較しても湘南地区は30.5%と割合が大きい。独居よりも同居の方が多いが、「配偶者と同居」が最も多いため、高齢世帯が多いことがうかがえる。(問4)
- 「子と同居」している方も17人いるが、回答者の半数以上が80代以上となっていることから、同居する子も青年期ではなく、60歳以上であることが想定される。「孫と同居」の回答は低いことから、高齢の両親とその子で構成されると予想される。(問4)

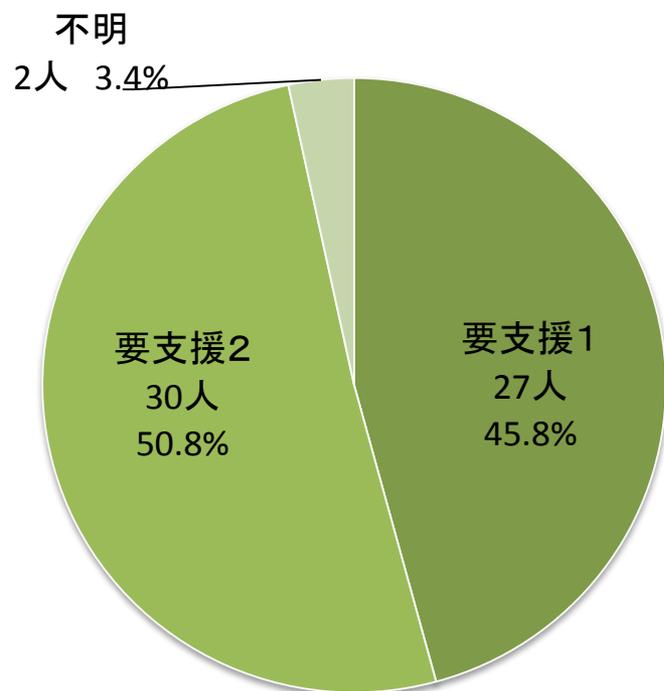
《考察》

上記のことから、今後独居世帯は増え続けていくのではないだろうか。柳島などは近隣に子や親族が住んでいる場合が多く、同居していなくても近くに支援者がいることも想定される。親戚関係は多いが皆高齢になり、付き合いも疎遠になっているように感じられるが、子どもからの支援は浜見平団地に比べ多いように感じる。

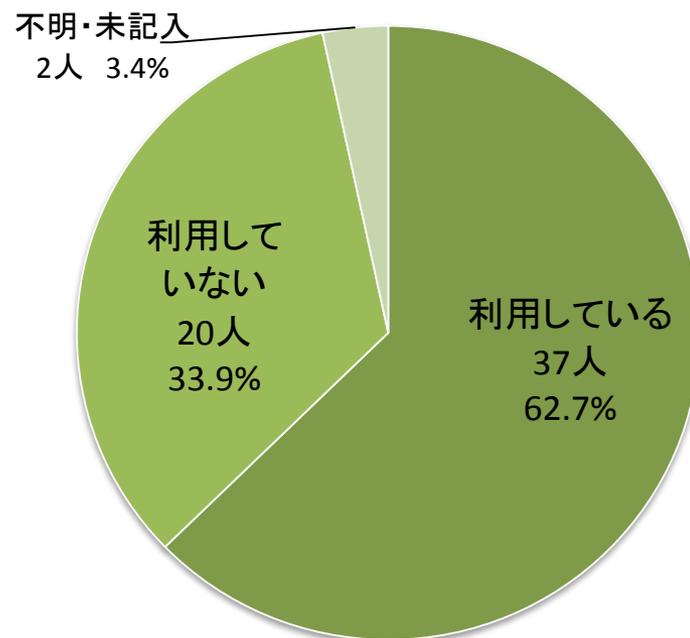
湘南地区

～介護認定関連～

問5 認定を受けている介護度をおたずねします



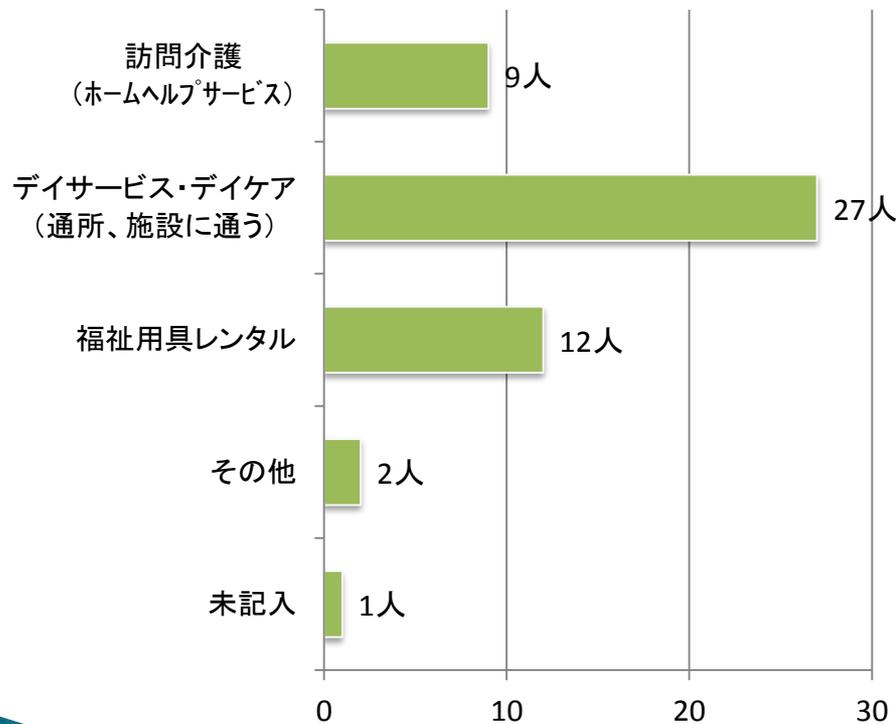
問6 現在介護保険のサービスを
利用していますか



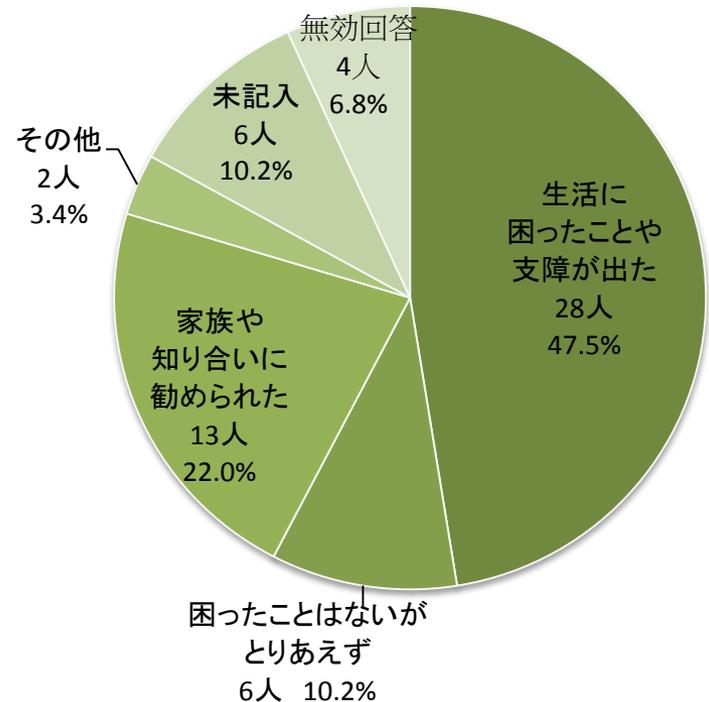
湘南地区

～介護認定関連～

問6-2 利用しているサービスを教えてください
(複数回答)



問7 介護保険の申請をした理由を
教えてください



湘南地区

《介護認定関連 問5～問7 について 市全域との比較》

- 介護保険を「生活するのに困ったことや支障が出てきた」ために申請した方が5割近いが、実際に利用しているサービスは、「デイサービス・デイケア」などの通所サービスが最も多い。(問6-2)
- 「家族や知り合いに勧められて」介護保険の申請をしたという人の割合が比較的大きい。独居の高齢者は、周りに勧められて申請に至る可能性が特に高いと思われる。
(問7)

《考察》

- 地区内には、地縁が強く、近隣に子や親族が住む世帯が多い地域があるため、日常的な支援は家族や近隣住民から得られている可能性がある。そういった地域特性を踏まえると、日ごろ介護をしている家族のレスパイト、他者との交流、ADLの維持・改善を主目的に、通所施設の利用をしていると考えられる。
- 一方、浜見平団地は高齢化率が地区内の他地域に比べかなり高い。高齢世帯で頼れる親族が近くにいない場合が多く、互いに介護することが難しい世帯が多いと想定されるため、入浴などの身体的な支援を目的に通所施設を利用していると考えられる。通所サービスの利用が全体の過半数以上を占めているが、地区内には地域のミニデイサービス、サロンも多数あるため、併用するなどの方法も周知していければ良いと思

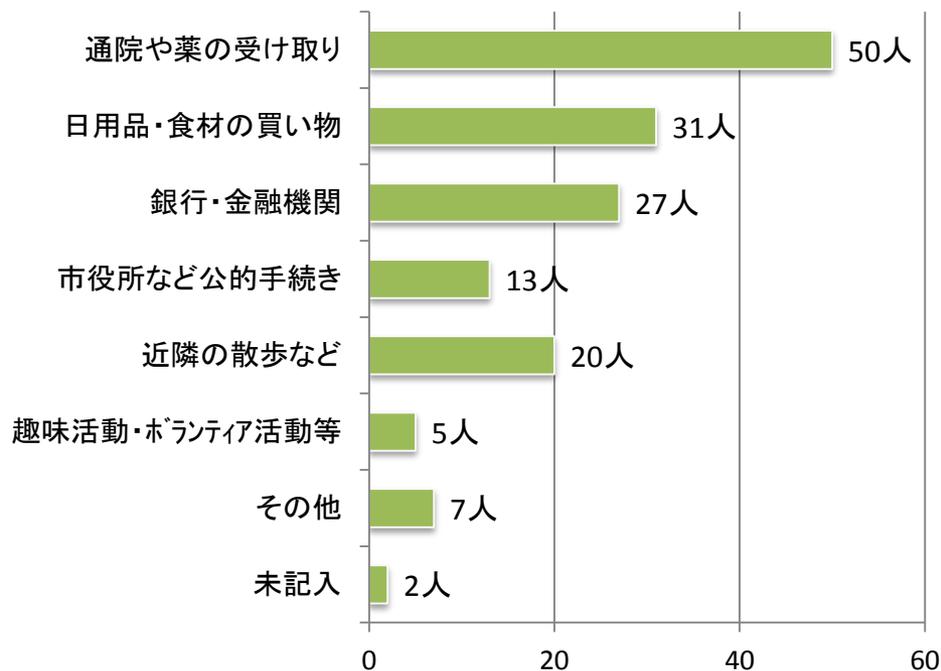
う。

湘南地区

～外出関連～

問8 普段よく出かけるところを教えてください

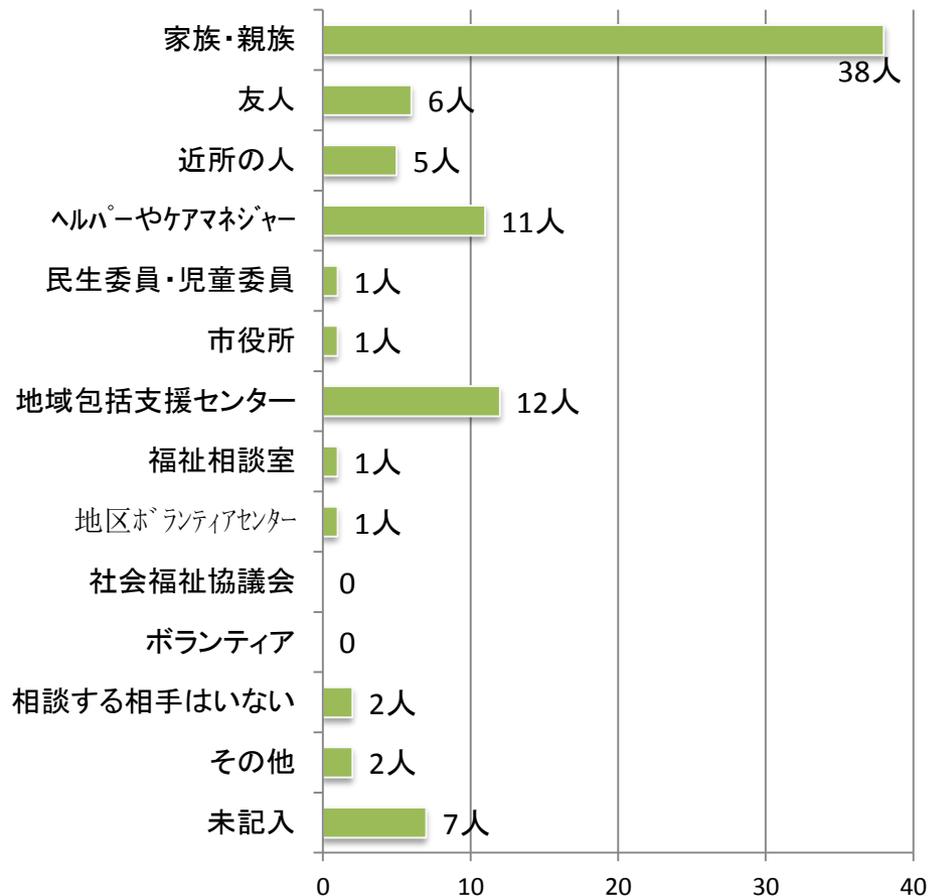
(複数回答)



※その他： 会社、地域のお楽しみ会、
長命会、通所リハ等

問13 外出について困ったことがある時など

誰(どこ)に相談しますか (複数回答)



湘南地区

《外出関連 問8・問13について 市全域との比較》

- 地縁が強く、相談できる距離に子や親族が住む世帯が多いことから、外出について困ったことを家族や友人、近隣に相談する人の割合が高くなっていることが想定される。一方で、浜見平団地などは高齢独居または夫婦で住まい、子が市外に住んでいるケースが多く日常的な協力が得にくい。また、子どもに迷惑をかけたくないと言う人が多いのか、近くに頼れる親族がいない世帯が多いことから、「地域包括支援センター」、「ヘルパーやケアマネジャー」へ相談していると思われる。（問13）

《考察》

- 今回のアンケート結果では、相談先として「地域包括支援センター」を選択する人が他地区と比べ多かった。「地区ボランティアセンター」の選択数は少ないが、地域包括支援センターと同施設にあり、日頃より互いに連携が図れている。結果としては表れていないが、相談事が繋がっているケースもある。
- 今後、相談窓口として地区ボランティアセンターの知名度をより上げていく必要があると思われる。

湘南地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

①出かける頻度 (計33)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	3
	3 週に1回	5
	4 月に1～2回	22
	5 その他	2
	未記入	1
	無効回答	0
②主な時間帯 (計33)	1 早朝(8時以前)	2
	2 午前中	23
	3 午後	7
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	1
	無効回答	0
	③交通手段 (計52)	1 徒歩
2 自転車		3
3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)		7
4 施設・店舗の無料バス		3
5 自分で運転する車		1
6 家族等が運転する車		11
7 タクシー		12
8 福祉タクシー		1
9 その他		2
未記入		1

④大変な理由 (計72)	1 距離が遠い	12
	2 交通が不便	6
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	24
	4 交通費が負担	6
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	3
	6 一人では行かれないので 付添が必要	17
	7 その他	2
④で6を選んだ人 (計17)	未記入	2
	1 家族	16
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに通院・薬受取りと回答した人

湘南地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

《考察》

- 「徒歩」や「自転車」で外出する人に比べ、「タクシー」や「バス」、家族の送迎など「車」を使って外出する人は倍となっている。
- 商業施設や病院、薬局、市の出張窓口、銀行など、生活に必要な機関がほとんど浜見平周辺に集中している。
- 地区内に総合病院はなく、地区外になることから、通院の足が必要となる。週に複数回通院している方は、地区内の個人医院へ通院していることが想定される。月に1、2回の通院の場合は、総合病院に通院していることが想定される。
- 「距離が遠い」、「交通が不便」との回答については、柳島、中島などは交通網が通っておらず身近な外出の足がないため、浜見平周辺の個人医院であってもそこまでの交通手段の確保が必要となり、より負担感を感じているものと思われる。特に付き添いが必要な場合、家族や友人の支援で通院している方が多く、地のつながりが強い、近隣に親族が住んでいることが多いといった柳島周辺の地域特性が出ていると思われるが、逆に浜見平団地では高齢世帯が多く、通院時に家族の支援を受けられる割合は減ることが推測される。

湘南地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

①出かける頻度 (計25)	1 週に4回以上	3
	2 週に2～3回	5
	3 週に1回	7
	4 月に1～2回	7
	5 その他	2
	未記入	1
	無効回答	0
②主な時間帯 (計25)	1 早朝(8時以前)	1
	2 午前中	13
	3 午後	10
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	1
	無効回答	0
③交通手段 (計32)	1 徒歩	11
	2 自転車	2
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	4
	4 施設・店舗の無料バス	0
	5 自分で運転する車	1
	6 家族等が運転する車	7
	7 タクシー	6
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	1
	未記入	0

④大変な理由 (計47)	1 距離が遠い	7
	2 交通が不便	2
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	18
	4 交通費が負担	2
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	2
	6 一人では行かれないので 付添が必要	11
	7 その他	4
④で6を選んだ人 (計11)	未記入	1
	1 家族	11
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに日用品食材等の
買い物と回答した人

湘南地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

《考察》

- 週に複数回買い物に出る人よりも、「週に1回」、「月に1～2回」と回答している人の方が多。
- 湘南地区は商業施設や病院、薬局、市の出張窓口、銀行など、生活に必要な機関がほとんど浜見平団地周辺に集中している。浜見平周辺の方は買い物先まで徒歩圏だが、柳島、中島などは、最寄りのスーパーまでも距離があり、買い物に出るのに車で連れて行ってもらうといった支援が必要となるため、家族の休日と一緒に連れて行ってもらう場合が多いのではないかと考えられる。月に1～2回との回答からは、日ごろの買い物は近隣の家族や親族がしているが、月に1～2回駅周辺へ出ているということも考えられる。この辺りは、家族などの支援が得やすい特性があるからか。
- 一方で、浜見平周辺に関してはスーパーなどが比較的に近いため「徒歩」で、週に複数回の買い物に出やすいと思われるが、浜見平の地域特性上家族の支援が得られにくいことが想定され、一人で買い物に出ているケースが多いのではないかと考えられる。そのため、近場で徒歩で行かれても、荷物が重いと運ぶのが大変といった体力的負担が大きいと想定される。

湘南地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

①出かける頻度 (計16)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	3
	3 週に1回	2
	4 月に1～2回	6
	5 その他	2
	未記入	3
	無効回答	0
②主な時間帯 (計16)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	9
	3 午後	3
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	4
	無効回答	0
③交通手段 (計20)	1 徒歩	3
	2 自転車	1
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	3
	4 施設・店舗の無料バス	1
	5 自分で運転する車	0
	6 家族等が運転する車	4
	7 タクシー	4
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	1
	未記入	3

④大変な理由 (計30)	1 距離が遠い	3
	2 交通が不便	1
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	9
	4 交通費が負担	1
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	3
	6 一人では行かれないので 付添が必要	10
	7 その他	0
④で6を選んだ人 (計10)	未記入	3
	1 家族	8
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	1
未記入	0	

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに銀行・金融機関と回答した人

湘南地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

《考察》

- 地区内にある金融機関は限られているが、他行のATMやコンビニのATMの利用が可能となるため、日ごろの出入金については近場で済ませられる。それ以外の手続きが伴うものなどは、取引のある銀行や支店でないとできない場合が多いため、駅周辺に出向いていく手段が必要となる。
- 浜見平では駅まで出るバスが近くを通るが、柳島、中島などは交通網が通っておらず身近な外出の足がないため、送迎やタクシーの利用が多いことが想定される。
- また、お金という部分で他者には頼みづらいこと、手続きなどに伴う不安感から、一人では行かれず家族と行く人が多いのかもしれない。

湘南地区

《全体考察》

- 湘南地区は、浜見平周辺と柳島や中島などの地区東側とでは、社会資源の数や地縁の濃淡、近隣に頼れる家族・親族がいるか否かなど取り巻く環境に差がある。
- 浜見平周辺に関しては、主要な機関がほとんど徒歩圏内にそろっているが、古くからある団地はエレベーターがないため、上階に住む方は徐々に外出が困難になり、買い物や通院が困難になっている。また、団地の建替え工事に伴う転居によりコミュニティーが再編されており、高齢化に伴い友人宅への訪問が困難になって孤立化の誘引となるなど、頼れる人が近くにいない場合が多い。外出の「あし」というよりも、老化による体力的な衰えから来る外出の困難さの方が大きいと思われ、外出の不安を和らげる支援、荷物を持つなどの身体的負担を減らす支援などが必要とされていることが想定される。地区ボランティアセンターへ、浜見平団地の住民からの生活支援の依頼が一番多いことも、このことを裏付けている。
- 一方、柳島などは、出かける先までの「あし」の問題が一番大きいと思われる。家族や親族が近くに住み、地縁が強い分助け合いがあるが、家族や親族、近隣の都合に合わせての外出となり、行きたい時、必要な時に外出できるような状態ではないと思われる。また、回答者の年齢から想像するに子も若くはないため、子が運転できない、付き添えないとなった時すぐに外出困難者に陥ることが想定され、外出困難者予備軍と呼べるのではないか。外出の際には近隣にも声をかけ、必要があれば乗せていくなど、地縁を活かした近隣同士の「乗り合い支援」のようなものがあるとよいかもしれない。
- 今回のようなアンケートは、地区内の字別データもとれると、より深く地区の状況を確認することができるのではないかと思う。

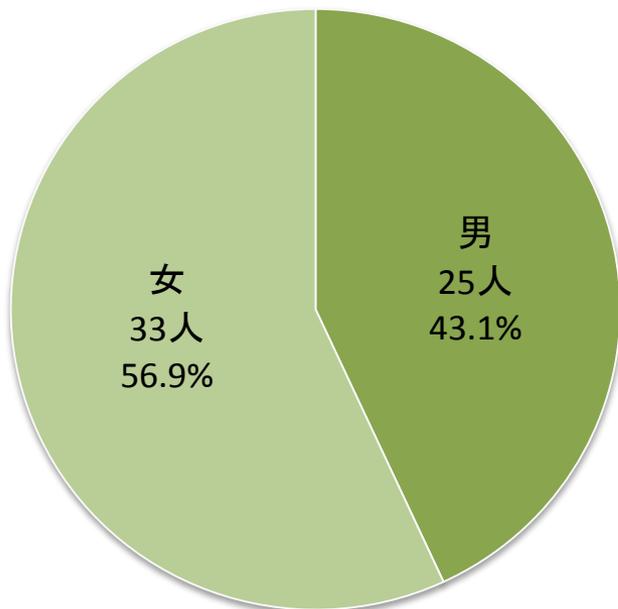


松林地区

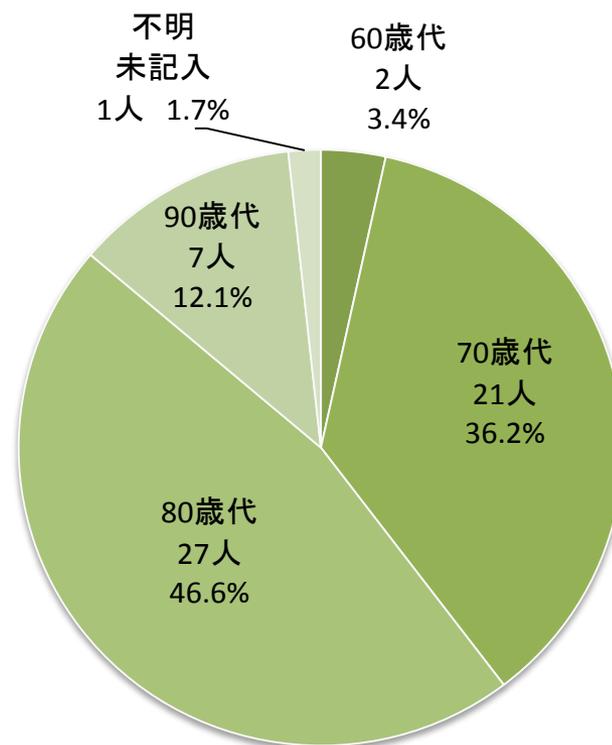
【回答数：58人／100人】（問1）

～基本項目～

問2 あなたの性別をおたずねします



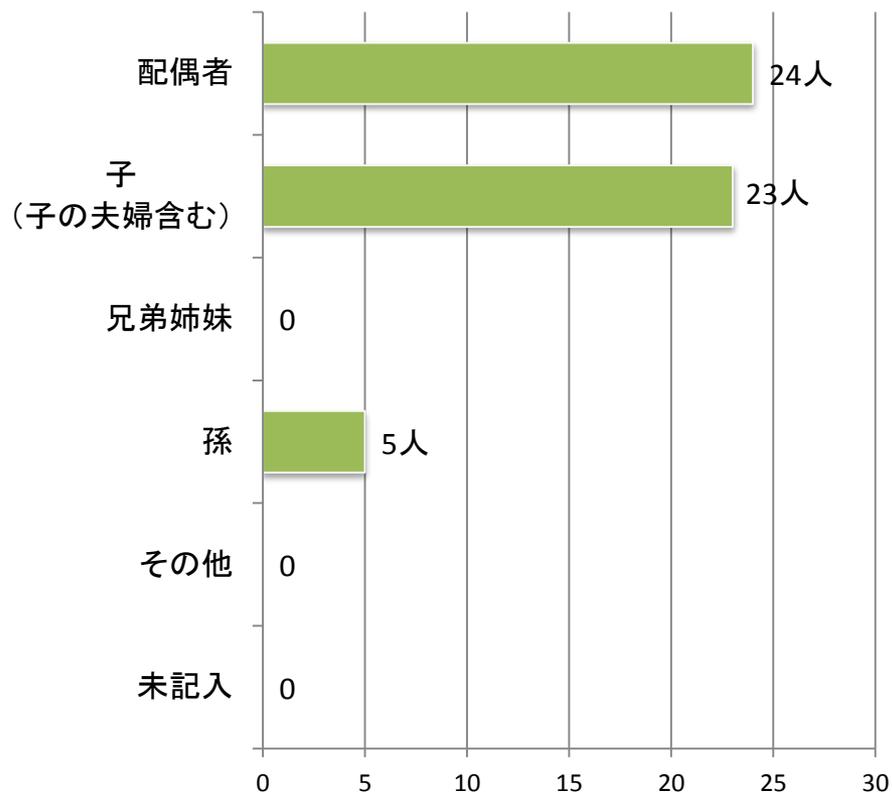
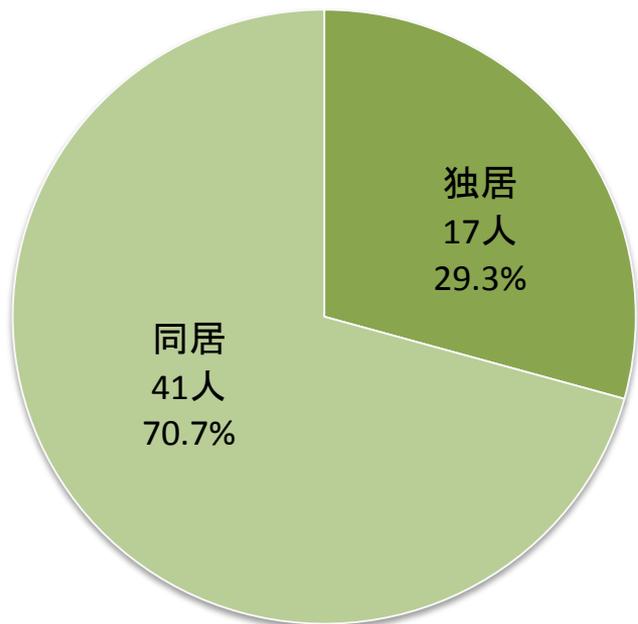
問3 あなたの年齢はおいくつですか



松林地区

～基本項目～

問4 同居している家族についておたずねします



どなたと同居していますか

(複数回答)

松林地区

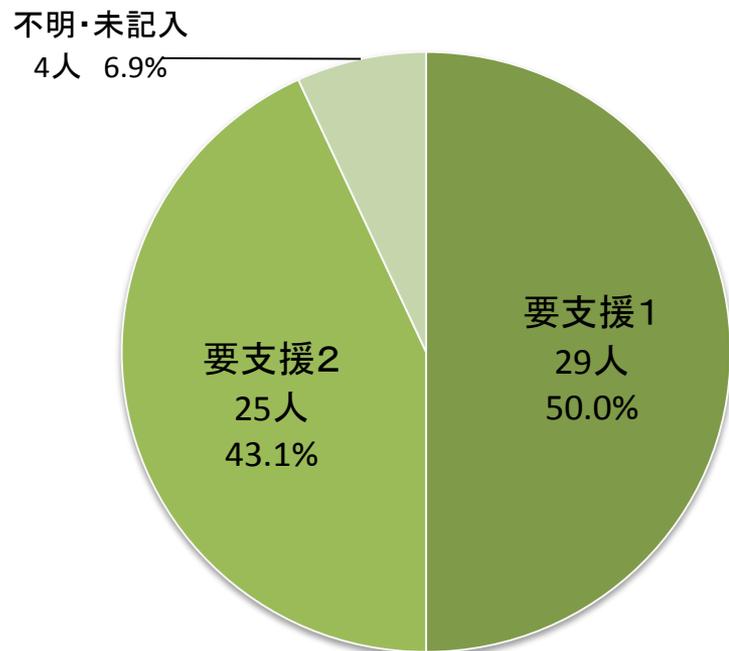
《基本項目 問2～問4 について 市全域との比較》

- 市域：男44.9%女54.7%と比較して偏差ないと思われる。(問2)
- 市域と比べて70歳代の回答割合が高く、90歳代が低かった。60歳代以下の回答割合も低かった。(問3)
- 独居の割合は市域と比較して偏差ないと思われる。(問4)
- 同居している41人中、「配偶者(24/41)」、「子(23/41)」との同居が多い。市域でも同様の傾向。(問4)

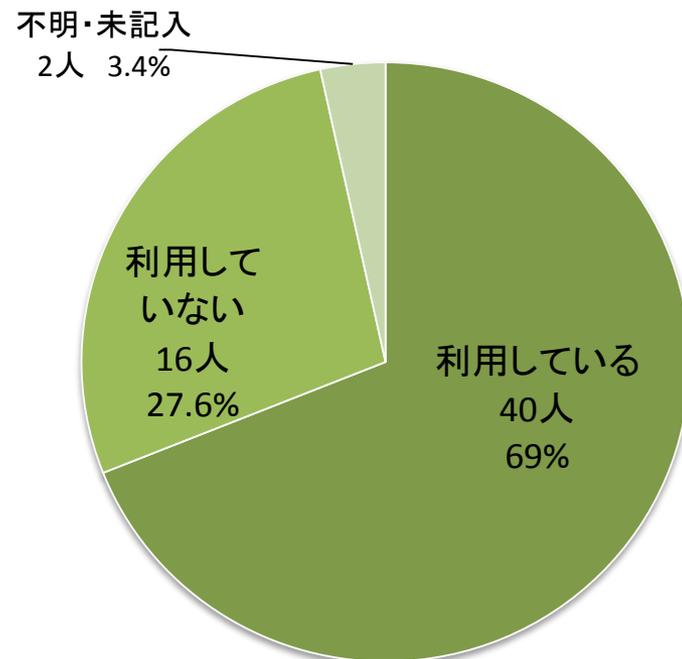
松林地区

～介護認定関連～

問5 認定を受けている介護度をおたずねします



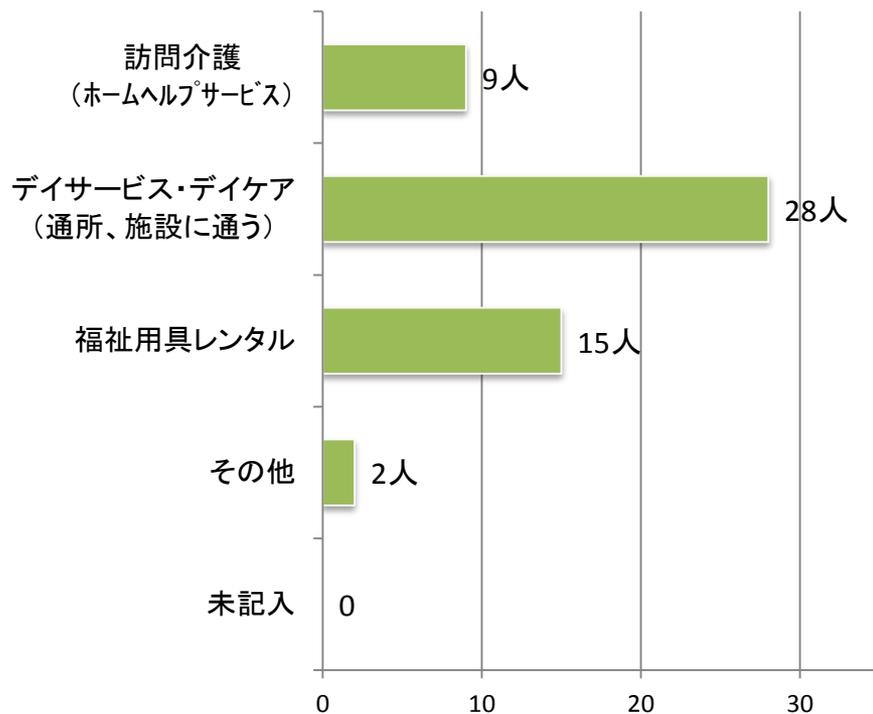
問6 現在介護保険のサービスを
利用していますか



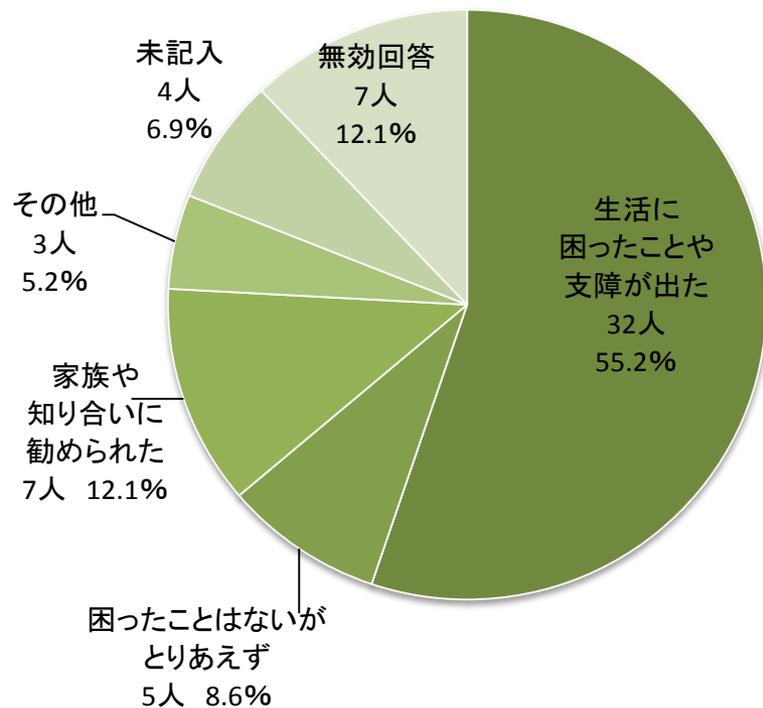
松林地区

～介護認定関連～

問6-2 利用しているサービスを教えてください
(複数回答)



問7 介護保険の申請をした理由を
教えてください



松林地区

《介護認定関連 問5～問7 について 市全域との比較》

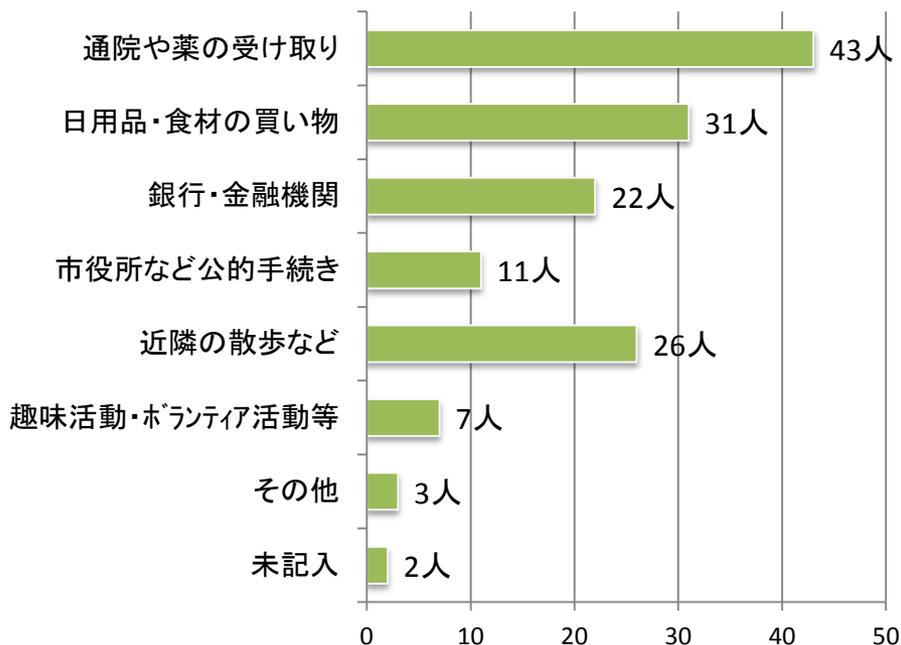
- 要支援2の割合が市域と比較して3.5%少ない。(問5)
- 介護保険サービスを「利用していない」人の割合が5.6%高い。(問6)
- 市域同様に「デイサービス・デイケア」の利用が一番多い。(利用している40人のうち29人がデイサービスを利用)。(問6-2)
- 「生活するのに困ったことや支障が出てきたため」と回答した人が55.2%で、市域とほぼ同じ。(問7)

松林地区

～外出関連～

問8 普段よく出かけるところを教えてください

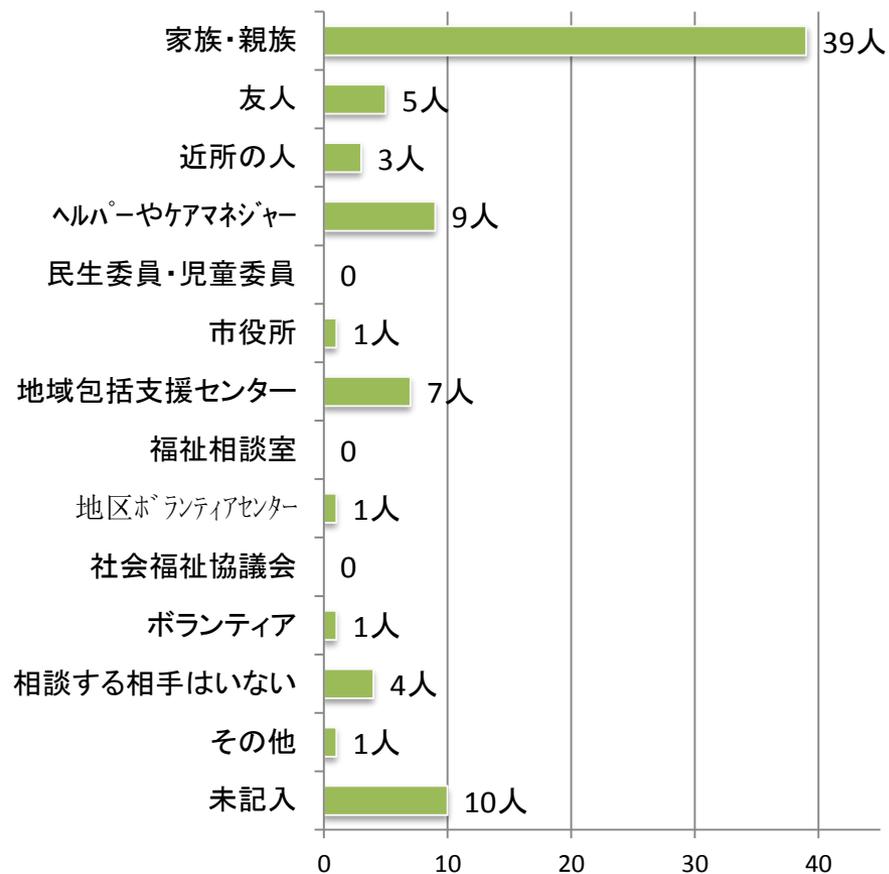
(複数回答)



※その他: 美容院、親戚宅
デイサービス

問13 外出について困ったことがある時など

誰(どこ)に相談しますか (複数回答)



松林地区

《外出関連 問8・問13について 市全域との比較》

- 市域と比較して「近隣の散歩等」の外出が多い。上位3つについて見ると「銀行・金融機関」より「近所の散歩等」が3位に入る。(問8)
- 市域と比較して偏差がないと思われる。(問13)

《考察》

- 多くは「通院・薬の受け取り」を回答。要支援者のアンケートのため、通院等が外出先として大きく占めることが再確認された。(問8)
- 「同居」が41人で39人が「家族・親族」に相談できており、家族・親族で相談できる環境にあることが見える。(問13)

松林地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

①出かける頻度 (計32)	1 週に4回以上	1
	2 週に2～3回	5
	3 週に1回	2
	4 月に1～2回	19
	5 その他	5
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計32)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	27
	3 午後	5
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	0
	無効回答	0
	③交通手段 (計43)	1 徒歩
2 自転車		2
3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)		4
4 施設・店舗の無料バス		1
5 自分で運転する車		3
6 家族等が運転する車		10
7 タクシー		12
8 福祉タクシー		0
9 その他		1
未記入		1

④大変な理由 (計70)	1 距離が遠い	13
	2 交通が不便	7
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	26
	4 交通費が負担	6
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	4
	6 一人では行かれないので 付添が必要	13
	7 その他	1
④で6を選んだ人 (計13)	未記入	0
	1 家族	13
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに通院・薬受取りと回答した人

松林地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

＜＜考察＞＞

- 通院・薬の受け取りについては「月に1～2回」で「午前中」、「家族の運転する車」か「タクシー」での移動が多い。
- 「一人で行かれない」場合、「家族」に100%頼んでいる。

松林地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

①出かける頻度 (計23)	1 週に4回以上	3
	2 週に2～3回	7
	3 週に1回	7
	4 月に1～2回	4
	5 その他	1
	未記入	1
	無効回答	0
②主な時間帯 (計23)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	15
	3 午後	6
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	2
	無効回答	0
③交通手段 (計33)	1 徒歩	8
	2 自転車	2
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	6
	4 施設・店舗の無料バス	0
	5 自分で運転する車	2
	6 家族等が運転する車	8
	7 タクシー	5
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	0
	未記入	2

④大変な理由 (計48)	1 距離が遠い	8
	2 交通が不便	6
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	18
	4 交通費が負担	3
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	3
	6 一人では行かないので 付添が必要	5
	7 その他	2
④で6を選んだ人 (計5)	未記入	3
	1 家族	5
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに日用品食材等の
買い物と回答した人

松林地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

＜＜考察＞＞

- 買い物については「週に1回」以上の頻度が多く、「午前中」が多い。交通手段は「家族の運転する車」「徒歩」が多い。
- 地区内でも住んでいる場所によって違うかと思う。
- 地域包括支援センターによると、買い物については宅配の利用も多い模様。
- 「一人で行かれない」場合、「家族」に100%頼んでいる。

松林地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

①出かける頻度 (計19)	1 週に4回以上	1
	2 週に2～3回	1
	3 週に1回	1
	4 月に1～2回	11
	5 その他	3
	未記入	2
	無効回答	0
②主な時間帯 (計19)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	13
	3 午後	3
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	3
	無効回答	0
③交通手段 (計23)	1 徒歩	4
	2 自転車	2
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	3
	4 施設・店舗の無料バス	1
	5 自分で運転する車	1
	6 家族等が運転する車	6
	7 タクシー	3
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	0
	未記入	3

④大変な理由 (計33)	1 距離が遠い	3
	2 交通が不便	2
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	14
	4 交通費が負担	3
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	2
	6 一人では行かれないので 付添が必要	7
	7 その他	0
④で6を選んだ人 (計7)	未記入	2
	1 家族	7
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに銀行・金融機関と回答した人

松林地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

《考察》

- 銀行については、「月に1～2回」の頻度が多く「午前中」が多い。交通手段は「家族の運転する車」に次いで「徒歩」が多い。地区内でも住んでいる場所によって違うかと思う。
- 地区近辺の金融機関であると郵便局（高田、鶴が台、松林、小和田）の他、コンビニのATMか。
- 「一人で行かれない」場合、「家族」に100%頼んでいる。

松林地区

《全体考察》

- 問2～問4における基本属性について
市域と大きな偏差はなかったが、子との同居は市域と比べて少し高い。
要支援者へのアンケートなので、要介護認定申請するにあたって、家族等の協力が得られる状況(同居)等があることが反映しているように思われる。
 - 問5～問7より
 - : 介護保険サービスの利用率は6.7%市域より低く、申請理由は「生活に困ったことや支障が出たため」と答えた人は55%と市域とほぼ同じ。
 - : 認定を受けてもある程度は同居親族の支援がありサービスを使わずにいるように思われる。利用サービスについて市域の順位と変わりはない。「デイサービス・デイケア」が一番多く、「福祉用具」「ヘルパー」と続く。
 - : 普段よく出かけるところ第3位に「近隣の散歩等」が挙がっており、市域第3位の「銀行・金融機関」よりも多い。
- ⇒ もし、要支援におけるデイサービス等の利用制限等がある場合、ミニデイサービスなどのインフォーマルな地域の居場所をより充実させることで、現状の利用者等を支えることの一助になるのではないか。

